

サイクリング部 必要品リスト

～自転車オプション品編～

1. 自転車の周辺アイテム

サイクリング部は旅を中心に行うサークルになりますので、デフォルトの自転車に旅で必要となるパーツを付加する必要があります。なにぶん自転車に着ける装備なので自転車との兼ね合いも重要になってきます。自転車の購入も「すぐに」という分けにはいかならないと思いますので、それらのアイテムの購入に関しては早い段階では目星だけ付けておく形でいいと思います。

2. 必要なアイテム

① キャリア

ママチャリ後部についているアレですが、旅をするうえで、各々の自転車に搭載する必要があります。

購入上の注意点としてはやはり自転車本体との兼ね合いが一番です。ここで注意点を挙げるよりも自転車購入の際に自転車屋さんと相談するのが的確なうえ安心でしょう。

② サイドバッグ

自転車を旅車足らしめる装備です。旅に必要な備品のほとんどをここに収めます。左右1セットになっており、先述したキャリアの両サイドに一つずつ掛けて装備します。容量や防水性などの違いがあります。

➤ 選び方

- ✓ 容量…積載能力は重要です。旅の内容によって装備内容も変わってきますが、左右合わせて40ℓ以上あるのが望ましいです。
- ✓ 防水性…旅に雨は付き物で、その度に荷物を濡らすのはとてもストレスが溜まります。サイドバックには防水素材で作られた完全防水の物もあれば、非防水で付属のレインカバーによって防水を施すようなモデルもあります。前者は雨が降ろうがお構いなしの無敵状態ですが、如何せん値段に響きます。特に限定はしませんので各々の事情に合わせて考えて下さい。しかしながら、悪いことは言いません、防水が良いです。

➤ お勧めアイテム

名称	ORT LIEB バックローラー クラシック	mont-bell ドライ サイドバッグ 40	UNICO KONNIX リアパニアバッグ 46
写真			
容量	40ℓ	40ℓ	46ℓ
重量	1.9kg	1.58kg	1240g
防水性	完全防水	生活防水	非防水 (レインカバー付属)
価格	¥18,000	¥11,800	¥7,648
備考	安心の完全防水設計。生地も丈夫で部員も多く使う。 ネットでかなり安く売られている物もある。	コストパフォーマンスが非常に良い。 完全防水ではないらしいが、水中に沈めたりしない限りは浸水しない。	ポケットが多くついてるので便利。 若干キャリアへの固定が甘い気もする。

③ 輪行バッグ

サイクリング部ではイベントの折々に「輪行」を行うことがあります。輪行に関しては詳しく説明する機会を設けますが、要は自転車を伴って電車で移動することです。当然、自転車を押して電車に乗り込むことは不可能ですので、コンパクトに分解して袋に収め、荷物扱いで乗車します。この時用いる袋が輪行バッグと呼ばれる物です。

➤ 選び方

- ✓ 種類…自転車を分解する際、前後輪外す方法と前輪のみ外す方法の二種あり、それぞれ用いる輪行バッグが変わってきます。前者では前後輪外して後述するエンド金具等を取り付ける手間がありますがコンパクトになります。一方で後者の方法は準備が容易ですがかなりスペースをとってしまいます。手間はかかりますが、特別理由が無い限り前者をお勧めします。

➤ お勧めアイテム

名称	OSTRICH 輪行袋 超軽量型 [L-100]	mont-bell コンパクト リンコウバッグ	OSTRICH 超速 FIVE 輪行袋
写真			
重量	235g	297g	770g
タイプ	前後輪外し	前後輪外し	前輪のみ外し
価格	¥6,396	¥4,850	¥8,856
備考	かなり軽量な素材を用い、 収納サイズも小さい。 閉じ口が紐で縛るタイプ なので少し煩わしい。	他社に比べると非常に安 価なうえ軽量。 収納方法の関係上、ディ レイラー部やフレームを傷 つけにくい。	前輪を外すのみであるの で輪行準備が簡単。 電車内でスペースをとっ てしまう。 ※写真は左に 90° 回転

④ エンド金具

輪行時には収納方法上、自転車のフレーム、ディレイラーを地面に接させる必要があるため、これら部位を保護する目的でエンド金具を用意します。輪行バッグの種類によってはエンド金具を必要としない場合もあります。エンド金具選びに関して特に注意はありませんが、強いというのであれば、フロント用とリア用の違いには注意して下さい。また自転車の種類によってはエンド金具と相性の悪いものもあるようですので、これも自転車屋さんと相談してみてもいいですね。

⑤ 荷造り紐

キャリアに荷物を括り付ける際に重宝するゴム紐です。パッキング方法は個人によって様々ではありますが、旅先で柔軟に荷造りに対応するためには2本ほど用意しておくと役立ちます。これらはホームセンターで売られている物で構いません。

⑥ 自転車用ライト

サイクリング部の活動はその内容によって時には日暮れ後にも及ぶ可能性があります。その際、進行方向を照らす目的、また走行する車に自分達の存在を認識させる目的で自転車にライトを搭載する必要があります。

揃えるべきライトは二種類あります。進行方向を照らすための「ヘッドライト」、後方からの視認性を主眼とする「テールライト（リアライト）」です。

➤ 選び方

- ✓ 明るさ…最たる項目です。主にヘッドライトに関する項目で、テールライトにおいてはさして選ぶ程の余地は無いです。ライトの値段、用途、バッテリーの種類等によって度合いが変わってきますが、勿論明るいに越したことはありませんので、最初に少し無理をしてでも光度の大きいものの購入をお勧めします。

また、ライトの明るさの尺度として「ルーメン」、「カンデラ」といった表記が存在し、購入時に困惑しますが、ルーメン、カンデラの概念に関しては説明が煩わしいのでここでは省きます。代わりに、値段帯としては少なくとも¥3,000以上の物を買うことを勧めます。

- ✓ 照射時間…光度やバッテリー、照射モードの違いで変わってきます。バッテリー電源が充電式だった場合、家庭用電源で充電できますので非常に安上がりですが、乾電池式の物に比べると照射時間が短めです。一方、電源が乾電池式であった場合、もし旅先で電池残量が尽きたとしても、調達が容易ですので便利です。